

(平成15年) 7月31日(木曜日)

# 孔子と孟子の銅像設置

## 東郷・燕趙園 松江の会社社長寄贈

鳥取県

鳥取県は、同県東郷町引地の中国庭園・燕趙園一家、孔子と孟子の銅像を



燕趙園に設置する孔子像(左)と孟子像(右)

く台座工事に着工して十月上旬の完成を目指す。同園では、「中国の雰囲気をも十分に堪能してもらえ」と喜んでいる。

銅像は、小松電器産業(松江市乃木福富町)の小松昭夫社長(五九)が、日中国交正常化三十周年を記念、中国山東省棗荘市で造った四体のうちの二体。棗荘市は、大戦中に鳥取、島根両県民で構成する松江第六三連隊の兵士約千人が戦死した場所で、鎮魂の意味も込めた。

寄贈を受けた同県が、孔子と孟子の一番映える場所として、燕趙園に白羽の矢を立てた。場所は、多目的広場・集粹館と園内を結ぶ中庭で、東郷湖を背にして二体を並べる。銅像は、孔子が高さ二・三メートル、孟子が二・三五メートル、両方とも最大幅〇・八五メートル。約三百万円を掛けて二辺一・一メートル、高さ〇・八メートルの台座を建設し、像を安置する。

小松社長は、「鳥取県は環日本海交流に力を入れており、最も適地に置いてもらえらることになった」と喜んでいる。